

東筑摩郡 麻績村・筑北村 探訪

2025.9.19 市外研修



市外研修日程

日 時： 2025(令7). 9.19 8:45~3:30

集会場所： 市総合観光会館 駐車場（車6台で乗り合わせ）

日 程： 9:00 出 発

↓ ①麻績神明宮 (麻績村)

↓ ②青柳宿 & 大切通し (筑北村)

12:00 昼食 ③「シェーンガルテンおみ」にて (麻績村)

↓ ④福満寺 (麻績村)

↓ ⑤冠着山遥拝所 (麻績村)

↓ ⑥法善寺 (筑北村)

↓ ⑦麻績宿 (筑北村)

15:00 出発

15:30 観光会館着、解散

1. 麻績神明宮 国指定重要文化財（麻績村）

平安時代に伊勢神宮の内宮の荘園、麻績御厨が置かれた時の創建とされる。江戸時代までに5棟の社殿郡が建設され、地方神社の形態を伝える建物として国の重要文化財に指定されている。古い建物の保存維持が行き届いていて感動しました。



①



②



③



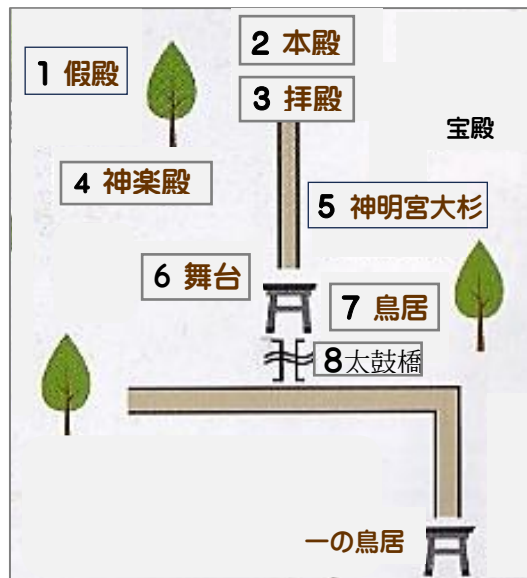
⑤



④



⑧



⑥

⑦

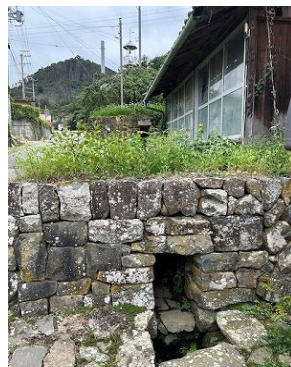
⑧

2. 青柳宿&大切通し (筑北村)

善光寺街道の宿場として栄えた坂北・青柳地区を訪ね、当時の面影を偲びました。傾斜を利用した石垣水路にも目を見張り、16 世紀に開いたと言う、青柳宿から麻績宿への路「大切通し」を通りぬけて当時を偲びました。



青柳宿本陣跡



青柳宿の石垣水路



大切通し



3. 昼食 「シェーンガルテンおみ」にて (麻績村)



4. 布光山 福満寺 (麻績村)

麻績村で最古の寺で、平安時代の開基。当時は聖山の中腹「寺所」にあったが、元禄元年(1688)に今の場所に移されています。収蔵庫には多くの貴重な文化財が置かれています。



福満寺仁王門



福満寺護摩堂



福満寺収蔵庫内

国指定重要文化財

- ・木造薬師如来坐像
- ・木造月光菩薩立像
- ・木造日光菩薩
- ・木造不動明王立像
- ・木造毘沙門天立像

5. 「冠着山遥拝所」石碑 (麻績村)

石碑地籍：
(上町地区
ガッタリ)



6. 仏眼山 法善寺 信濃 33 番札所の 1 番 (麻績村)

曹洞宗 ご本尊は阿弥陀如来(札所の本尊:聖観音)

五千人宿供養塔(1757 建立):

巡礼者に無償で宿を提供すると、提供者は巡礼者と同じ功德を積んだこととされ、宿泊者が 5 千人に達したことを記念して、麻績宿大和屋が建立。



7. 麻績宿 (麻績村)

慶長 18 年(1613)善光寺街道(北國西往還)の宿場となる。麻績宿には脇本陣はなく、本陣は 2 軒(中橋と瀬戸屋)に及んだ時期もある。

